時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

西洋の風を模するには取捨する所あるを要す（昨日の續き）

在英國　高橋　達

國の甚は工商業に在ると論を俟たざる所にして歐洲一般就中英國が富強の今日に至りし其原因も全くは國民の勉強節儉にして能く工商の業を勵みたるに在る者なりと云はざる可らず我日本の開國は今に於て既に三十年を經過したれば其間西洋事物の日本社會に傳はりたる者二三にして足らざれ共其文明は政治法律陸海軍事或は又汽船電信鐵道の如きものに止まり工商の事業に至りては間接に多少の變動ありしにもせよ大體は依然たる封建時代の舊習を今日に尙は墨守する者にして少しも進歩改良の實跡を見ざるは殆んど不可思議に堪へざるあり近來日本人は自らも文明進歩の速きを以て人に誇り西洋諸國も亦日本改進事業の活潑あるを稱贊して已まざれども謂ゆる其進歩と云ひ改進と名くる者は唯有形の事物若くは又模倣的の制度を指したるに過ぎざるのみ若しも公平に社會の全體を看渡して就中國の富強の大本たる工商業の有樣より其趣を批評したらば三十年來果して世界に誇る可きの文明進歩を爲したりと云ふを得べきや疑はしき次第あり蓋し有形の事物を以て今の日本を三十年以前に較べなば著しき相違變革を來したるは掩ふ可らざるの事實ならんと雖も之に伴ふに無形の進歩を以てせざる其間は外部の文明何の用をも爲す可らず日本三十年來の改進は全く政法部内の進歩にして文物典章の美は燦爛として西洋諸國に劣る所あけれども之と同時に工商部内には如何ある變化を來したりしやと云ふに我輩に於ては遺憾ながらも先づ進歩なきものありと返答せざる可らず我輩日本に在るの日に於ても工商業家の無學不文にして殊に其の進取の勇氣なきを嘆息に思ひ居たる所なれども西洋に來りて到る所工商の人に接し其學識經驗を叩く毎に一には西洋富強の由來する次第を悟り二には又日本の工商業家は何故に斯く獨り世界の風潮に後れたるやと愚は驚愕を發せざるはあらざるなり日本今日の文明は政法部内に於て其改進既に充分なりと云ふには非ざれども工商事業に變革を加ふるの要用に至りては之に比して尙に一層に大切なりと云はざる可らず日本前途の改進を計る者豈大に爰に鑑むる所なくして可ならんや右の如く日本は文明は政法の事のみ最も進んで工商業獨り大に後れたるは他に種々の原因もあるとあらんと雖も就中西洋文明の輸入者たる人物が一に士族の門より出で、工商業家の之に關係せしもの少なきこと其主因なる可し開國の始めより西洋に遊歷して彼地の文明を觀察したる人々は蓋し孰れも武門武士なる者にして治國平天下の事に於ては與て多少の心得もあり即ち最も政法の門に入り易きの種族にして其己れに近き所より西洋の文明を採りたるが故に工商業の如き本來無緣の事柄には注意至て淡泊にして其必要如何んを感ぜざりしも亦咎むるに足らず其事實と云ふも當時多くは皆官の手に出でたる者にして之を使用するの情ありても恰も武士が世祿に衣食して恬然たるの趣なきに非ず隨て文明觀察の眼光も之を西洋國民勉強節儉衣食生計の點には注がずして寧ろ外形の奢侈壯觀に其心を傾け專ら表面より文明を視るを勉めて却て裏面より之を窺ふを忘れたるの奇談なかる可けんや此の如く從來の洋行者が主として文明の表面より其觀察を下したるは決して其人不肖なるの致す所に非ず否知識教育は點に於ては此等の人々は實に等輩なきの俊士あらんと雖も如何にせん地位既に直接に衣食の事に緣あければ事物見聞の際よ於ても其注意自から此邊に迂濶ならざる可らず若しも開國の初年より工商業家をして地を替へて陸續洋行せしめたらば必ずや先づ己れよ利害關係は最も直接ある衣食生計の有樣に着眼し西洋一般勉強節儉にして最も奢侈を忌む風俗を發見したりしとあらんなれども其事此に出でずして日本の文明輸入者は理財生産に最も無緣ある士族の門より顯はれたるの一事國の爲めに惜まざるを得ざるなり

日本の文明輸入者が今日迄に取る所の手段を視るに勉強節儉の事の如きは苟めにも之を言はず唯西洋の華美贅澤をのみ吹聽して人をして文明とは即ち奢侈の反語なるかと疑はしめたるの狀態なきに非ず即ち舞踏夜會演劇改良男女交際の道よりして或は公園地遊歩地の設けに至るまで其の事の大小は論ぜざれども兎に角に西洋外形の文明を粉飾し一方に勉強節儉の功は少しも擧らざるに一方に奢侈逸樂を事としたらば國の成行如何なる可きや掛念に堪へざる次第なりとは我輩既に前節に於て開陳したる所あれば今日の策を爲すにも政府よりは官費にて派出す可き遊學生の數の如きは大に之を減少して成丈政府節儉の旨を示し之に代ふるに工商業家を奬勵して自ら進んで西洋に渡航するの風を養はしむるは大切なる可し又工商業家自身に於ても今は昔しの職人素町人を以て居る可きの時節に非ざれば其子弟に充分の教育を授け有爲活潑の人物を作るとに盡力す可きは勿論にして本人或は老いたらんと雖も其志未だ朽ちずんば世よ處して功名を建るの機後れたりと云ふ可らず政法偏重の文明を矯正して工商の事業に因て國の大本を養ひ以て日本建國の獨立を全うするの任は我輩之を今の工商諸氏に歸せざる可らざるなり（完）

雑報

○内閣大臣の更迭　近日内閣に小改革あるべしとは豫て聞及ぶ處の風説にして伊藤總理大臣の外務大臣を兼務するは臨時のことなれば外務大臣の新任更迭は此改革の重なるものあらんとは人々の想像する處あるが外務大臣に任ぜらるべき人に就ては風説區々にして森文部大臣若くは榎本遞信大臣が之に任ぜらるゝならんと云ひ其眞偽如何は素より知るに由あければども又一説には伊藤總理大臣が更に其兼務を確定さるゝ歟或は青木外務次官が昇任さるゝことならんとも云へり

○華盛頓駐紮全權公使　豫て噂のありし如く山尾宮中顧問官には愈々近日合衆國華盛頓駐紮日本全權公使に任ぜらるべしと云へり

○英佛間の條約調印　蘇士運河、ニウヘブリッヂ嶋及びレイアテー嶋に關する英佛兩國間の條約は豫ねて商議中にて一時雙方の議の協はざるともありたるが十月廿四日巴里に於て愈々佛國外務卿フルーラン氏と巴里駐紮英國代理公使エゼルトン氏の間に調印をなしたるよし同條約に據れば蘇士運河は和戰の兩時とも常に各國の商船及び軍艦の通航を許して英國又佛國が之を干渉せざる都合なり又ニウヘブリッヂ嶋及びレイアテー嶋は太平洋の嶋嶼にして千八百四十二年に佛國がソサイエチー嶋に政廳を設置したる時に當り英國は右の嶋嶼は英國の所領なりと主唱し其後數箇年の間兩國の議協はずして何れの所領とも定まらざりしが遂に千八百四十七年に至り時の英國外務大臣パーメルストン卿と倫敦駐紮佛國公使ド ヴャルナー氏の間に商議整ひ其獨立を承認して互に干渉せざることを約したれども今度愈々佛國が右嶋嶼の主權を有する者となりて英國は其權を放棄したり云々と近着の倫敦支那エキスプレッスに見えたり

○内閣辭職前佛國議院の景況　我輩は昨日郵手したる米國新聞より佛國内閣辭職前の最近報を左に譯出するの報は内閣の辭職（十一月二十一日）の四日以前に係るものあれば以てその辭職に至りたる事情の一斑を知るに足るべし

巴里十一月十七日發　昨今當地の騷動は筆紙に盡し難き程にて數年來は曾て見聞せざる所なり大統領、内閣、ウヰルソン、警視總監（グラゴノーン氏）に關する夫々の疑問、昔は其中の一事件にても隨分喧ましき疑問、一時に重り合ひ議院中の議論は更なり巴里市中到る處苟しくも口ある者は喋々此疑問を論じ此處にも彼處にも激論沸騰して何頃何時如何なる事が出來するも知れぬ有樣あり下院に於ては内閣攻擊の動議續々起りこの勢にては大統領を譴くるの大英斷にも出づるあらんと人々申合へりウヰルソン告訴の議は政府が百方手を盡くして辨護救解の甲斐もなく今は將に可決さるべく見えたり左れば本日議事の最中議長フロッケー氏が大統領の席に就き報告をなさんとするに當り内閣員の狼狽は目も當られぬ有樣にてルーヴヰー、クレマンソー、ロックロイの三氏續て立上りフロッケー氏に何事か耳語きフエリー氏杯も何かルーヴヰー氏と頻りに話し合ひたる樣見受けられ事の體、如何にも尋常ならず見えけるが暫してフロッケー氏は其席に起立し内閣議長よりウヰルソン免訴の請願を受領したる旨を報告し其可否を衆議に付したるに不思議にも一同異議なく免訴の事を可決したり之にて人々一安心なしたる處に既にして内閣にては最早ウヰルソンを撤棄したりとの事聞えければ人心又々騷ぎ立ち午後再び議事を開くに當ては傍聽席は群衆山となし共和黨員より成立たる糺彈委員は一同告訴の事を贊成し同委員長アチヤード氏が其報告を讀上んとて起立するや滿場の喧擾湧くが如くありし其報告は甚だ簡單ありしもウヰルソン氏が書簡の贋替をなしたる事實を委しく陳述したるカッファレル將軍は口供を擧げたりアチヤード氏の報告終るや議長フロッケー氏は直に議事を始むべきや否を問ひたるよ「然り」の聲滿堂に響き渡れり是に前内閣議長ゴブレー氏先づ口を開きてウヰルソン氏の行爲は非難すべき廉なきにあらずと雖も之を有罪とは認むべからず故に余は告訴する事よ不同意なりと發言し共和黨の一人なるミルランドと名のある若年の議員……れ公衆の良心を傷けたる……、其回復を求めざるべか……らものあるとも我共和黨……ずと論じたる議論も大抵……決の報道をなし投票の數……滿場寂然たる中に起立し……十七名にして之と否とす……ちこの事を内閣に通知し……んとは數時間前までは實……聞く所に依れば當夜大統……愈々辭職に決心したる旨……びウヰルソン氏は告訴の……明言したりとも云ふ兎に……相違なき事實なれば今度……紛々たるが先づはフエリ……レーモン等の中あるべし……里の知事サウシール將軍……領の選擧に就ても又々一搏……

○摩耶艦　豫て神戸小野……水式を終り其後同港に投……着手中なりしが右は此程……賀へ向けて運轉を試み同……ありと

○水雷火船の製造　海軍……さ凡二百七十七ヒート、……ツト、容噸數五百の水雷……圖中のよし其製圖出來の……云へり

○砲艦製造　海軍省にて……せんとて目下之れが製圖……

○佛蘭軍艦　佛國軍艦ナ……午後七時二十分橫濱へ入……同所より同十一時同じく……して東京公使館へと赴き……炭を積み込み昨十一日午……を解纜せり尤も二週間を……なりと

○秋田縣會は中止　同縣……事に關する議論中法律を……二日青山同縣知事より客……の事情具申の爲め至急同……頭しゝるに同省にては却……ゝ由なるが今その事の次……議に於て教育費の第二次……二千六百八十七圓五十六……員荒谷桂吉氏は本項費目……るが故に削除せんとを望……中に朱書として挿入せし……此論議もべきもれに非す……十六番は再び起て抑も本……吾々が議定すべきの權利……に一種議す可らさるもの……する上は議定すべし議定……べきとの議論に贊種々の……の削除說に決したり斯く……たるに十一番議員橫山勇……たる削除說は甚だ當を得……

○出火　境十二月十一日午後特發　昨十日午後十時頃伯耆國會見郡東外江村百三十一番地井上新十郎方より出火四戸燒失同十一時三十分鎭火せり